

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年1月16日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	狭山市立狭山台図書館	代表者名	吉田朋生
担当者部署	狭山市立狭山台図書館	連絡先電話番号	04-2958-3801
担当者役職	副館長	担当者氏名	登坂喜代美
住所	350-1304 埼玉県狭山市狭山台1-29-2		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	取り組もうとする事業案の精度を高めるため、ターゲット層の明確化、企業との関係構築をすることの重要性、来館される方へ優先的にアプローチすることの意味などについてご助言をいただきとても参考になったためです。
アドバイザーへの要望事項	些細なことも含め色々とお尋ねするかと思いますが、一つ一つにご助言いただければと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年1月7日	14時00分	17時30分		210
	派遣形態	支援・助言 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	5 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	• どのような状態を作り出したいか、どなた向けに何をするかを定めきれていなかったこと • 企業とどんな関係性を、どう構築するか、方法を知ること • 展示物と本とを関係づける方法を知ること	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	• どのようになりたいかを明確にし、どなた向けに何をするかをしっかりと定め、事業の骨子を強化すること • 企業とお互いに協力してメリットを得る関係を構築すること • 展示物と本とが連動して機能する方法を知ること	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	• 一例として高校生をターゲットとするなら、来館する高校生にチラシ、ポスターなどでアピールする。 • 企業との関係は支援では疲弊してしまう。協力を基本とし、互いにメリットがある関係を構築する必要がある。 • 展示を行うにあたって書架の一角を利用して行うのが望ましい。距離が離れているならば、表示やパスファインダーなどで連動していることを示す。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	• 来年度からすぐにイベントを実施するのではなく、企業との関係を構築するのに時間をかける必要性を認識できたこと。 • 誰のために行うのか、どんな状態になりたいのかを確立する必要性を認識できたこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	• 現時点では途中段階であり、改善または解決されなかった内容はありません。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・オンラインミーティングであり、講演やセミナーなどは行っておらずアンケートも行ってないため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

